ＡＶ設備の使い方 【体育講義室 D171教室】

【ＡＶ利用の場合】・・・ 操作卓使用

●ＡＶ設備の利用開始／終了時
まず、はじめに主電源スイッチをONにしてください。
システムの電源が入ります。
利用終了時は主電源スイッチをOFFにしてください。
システム電源が切れます。

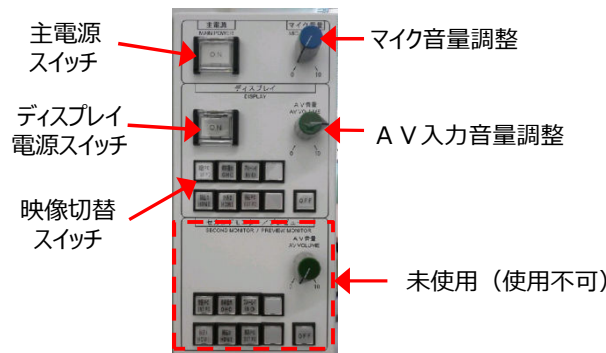
●マイクを使う
システム電源を入れるだけで、マイクを使用することができます。 また、音量の調節も可能です。
主電源スイッチの横にあるマイクボリューム（青）で音量を調節して下さい。
※マイクは有線マイクが使用でき、操作卓では別途２本のマイクが接続でき、同時に３本の利用が可能。

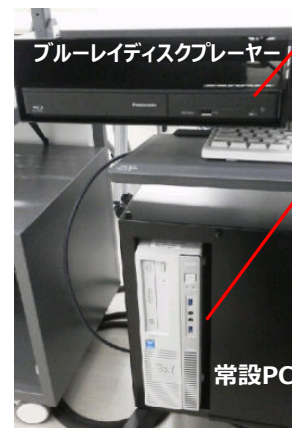
●プレビューモニターを使う
①主電源スイッチをONにすると、自動的にプレビューモニターの電源もONになります。
②操作パネルでディスプレイ用の映像を選択すると、液晶ディスプレイに表示する映像と同じ映像が表示されます。

●液晶ディスプレイを使う
①操作パネルのディスプレイ電源スイッチを押します。
②液晶ディスプレイの電源が入り、操作パネルで選択した映像が表示されます。
③電子黒板としての利用は、常設PCにインストールされている「ペイントソフト」を使用することによりご使用いただけます。
※ 電子黒板利用「ペイントソフト」については、別紙の取扱説明書をご確認下さい。

【音響のみの利用の場合】・・・ 音響操作ボックスを使用

●音響設備の利用開始／終了時
音響操作ボックスのｼｽﾃﾑ電源ｽｲｯﾁをONにしてください。ｼｽﾃﾑの電源が入ります。利用終了時はｼｽﾃﾑ電源ｽｲｯﾁをOFFにしてください。 ｼｽﾃﾑの電源が切れます。

●マイク･持込機器を拡声する
マイク接続パネル（MIC3､4）にマイクケーブル、持込機器（L､R）に音声ピンケーブルを接続し、各ボリューム（緑）で音量を調節して下さい。

主電源／ディスプレイ電源ＯＮ時の
操作パネルとプレビューモニター

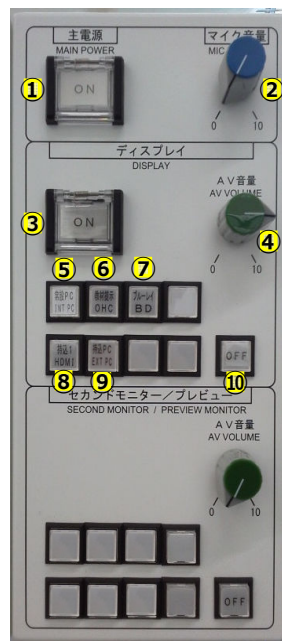
【ＡＶ利用の場合】

タッチパネル液晶ディスプレイ（電子黒板）

【音響利用の場合】

音響操作用
システム電源スイッチ

ＡＶ設備の使い方 【体育講義室　D171教室】

【操作卓：プレビューモニター／操作パネル】

【操作卓：操作パネル】

①主電源のON・OFFを行います。
②マイクの音量を調整します。
③タッチパネル液晶ディスプレイ電源のON・OFFを行います。
④ディスプレイへの映像選択をしたAV音量を調整します。
⑤ディスプレイ映像選択：常設PCの映像を表示します。
⑥ディスプレイ映像選択：書画カメラ（OHC）の映像を表示します。
⑦ディスプレイ映像選択：ブルーレイ（BD）の映像を表示します。
⑧ディスプレイ映像選択：持込 HDMIの映像を表示します。
⑨ディスプレイ映像選択：持込PCの映像を表示します。
⑩ディスプレイ映像選択：ディスプレイの表示をOFFします。

【音響操作ボックス：操作パネル】

【音響操作ボックス：持込機器接続パネル】

●持込PCの画面を映す

①**持込PC入力端子**にケーブル（**卓上RGB／卓上HDMI**）とパソコンをつなげます。
②卓上RGBの音声を出力したい場合は、音声ケーブルを接続します。
③タッチパネルで**卓上RGB／卓上HDMI入力**を選択します。

ディスプレイに画面が映し出されない場合、パソコンでの操作が必要です。
パソコンのFnキー＋F＊キー（CRT or ▭ 表示のあるキー）を２回押して下さい。

●BD･DVD･CDなどを再生する

①操作パネルでブルーレイディスクを選択します。
②ブルーレイディスクプレーヤー本体の上部右側にある操作部や据付のワイヤレスリモコンで電源操作やディスクトレイの開閉及びプレイ／ストップ等の操作が行えます。

ブルーレイディスクプレーヤー

●書画カメラ（OHC）を使う

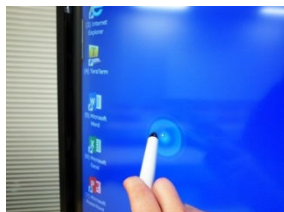
①操作パネルで書画カメラ（OHC）を選択します。
②カメラ部の「ズームホイール」でズーム調整します。
③オートフォーカス「AF」オン時は緑色（基本）
オフ時は白色になり、手動で
フォーカス調整もできます。

電子黒板のご利用方法

■常設パソコンから利用する場合

① 操作パネルの「**主電源**」ボタンを押して
AV機器の電源をONにしてください。

② ディスプレイの「**ON**」ボタンを押して電子黒板の
電源を入れ、映像選択ボタンの「**常設PC**」を
押してください。

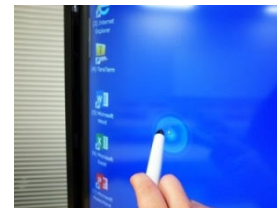
③ 常設パソコンの電源をONにしてください。

④ 電子黒板にパソコンの画面が表示されたら
ログインし、画面をタッチしてタッチパネルが
正常に動作していることを確認してください。

■持込パソコンを接続して利用する場合

① 備え付けの**映像ケーブル**と**USBケーブル**を
持込みPCに接続して電源を入れてください。

② BIGPAD用USB切替の「**持込機器**」のボタンを
押してください。ボタンが赤く点灯します。

③ 操作パネルの「**主電源**」ボタンを押して
AV機器の電源をONにしてください。

④ ディスプレイの「**ON**」ボタンを押して電子黒板の
電源を入れ、持込みパソコンを繋いだケーブルの
ボタンを押してください。ディスプレイに画面が
投影されます。

⑤ 電子黒板にパソコンの画面が表示されたら、
電子黒板の画面をタッチしてタッチパネルが正常に
動作していることを確認してください。
（USBドライバを読み込んでタッチ操作が可能になる
まで少し時間がかかる場合があります）

タッチパネル機能に必要なドライバは、Windows 7 及び 8 はUSBケーブル接続の際に自動的にインストールされます。
Macintoshは別途ドライバのインストールが必要となります。

ペンソフトウエアの使用方法

ＰＣが画面で操作できるほか、専用のソフトをインストールすることで、下記のようなことができます。
（教室の常設パソコンにはインストールされています）

ホワイトボードを起動しましょう

1.デスクトップ上にある「ペンソフト」アイコン **をダブルタッチ（2回素早くタッチ）します。**

2.ホワイトボードが起動します。

ホワイトボードに文字を書いてみましょう

ペンで画面（ホワイトボード部分）に触れると、画面に描くことができます。

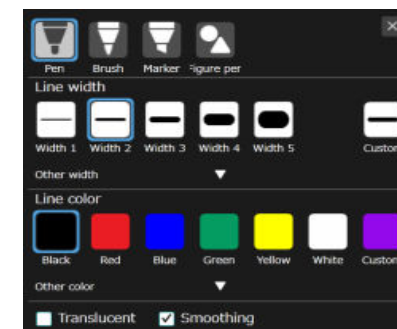
同梱ペン

●ペンの太さや色を変えたいとき

1.ペン１ **を２回タッチしてください。**

2.右図の設定メニューから設定します。

・使いたいペン（ペン、筆ペン、
マーカー、図形ペン）、
色（黒、赤、青、緑、黄、白）、
太さ（１～５）を選んでください。

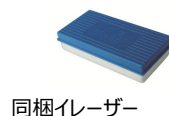
・設定を終了するときは
閉じるボタン ☒ を
タッチしてください。

**3.カスタムは任意の太さ、任意の色を作成する
ができます。**

・カスタムをタッチし、▼ をタッチすると太さ、
また色を設定をすることができます。

消しゴムで消してみましょう

●イレーザーで消したいとき

・付属のイレイザーで、黒板消しと同じ要領で画面をやさしくこすると、消すことができます。

同梱イレーザー

●ペンで消したいとき

・消しゴムアイコン 消しゴム を タッチし、消したい部分に ペンで触れると（やさしく こするイメージ）、書いた ところを消すことができます。

●消しゴムの大きさを変えたいとき

1.消しゴムアイコン 消しゴム を２回タッチします。

・もしくは消しゴムを選んでいる状態で、再度消しゴムアイコンをタッチします。

2.下図の4つの大きさの中から選んでタッチします。

●シート内のすべての文字や画像を一度に消したいとき

1.消しゴムアイコン 消しゴム を２回タッチします。

・もしくは消しゴムを選んでいる状態で、再度消しゴムアイコンをタッチします。

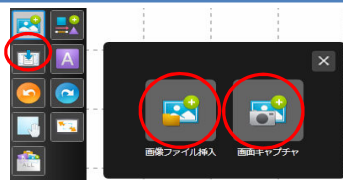
2.シートクリア をタッチすると、確認ダイアログボックスが表示されます。

・「はい」をタッチするとすべてのオブジェクトが消えます。

書いた文字をテキスト変換してみましょう

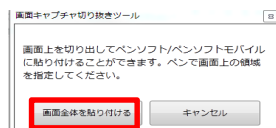
・選択アイコン をタッチし、変換したい文字を選択します。

・テキスト変換アイコン をタッチすると文字をテキスト変換します。

画像ファイルの挿入をしてみましょう

・画像挿入アイコン 画像挿入 をタッチし、画像ファイル挿入または画面キャプチャを選択します。

画面キャプチャ切り抜きツール

画面上を切り出してペンソフト/ペンソフトモバイルに貼り付けることができます。ペンで画面上の領域を指定してください。

画面全体を貼り付ける　キャンセル

・画面全体をキャプチャリングする場合は、「画像全体を貼り付ける」 を選択します

デスクトップ画面のキャプチャリングをしてみましょう

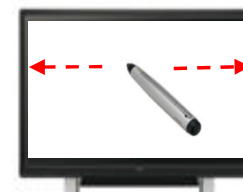
・一部分を貼り付ける際には範囲を選択し「ペンソフトへ送信」をタッチするとペンソフトへ貼り付けることが出来ます。

ページをめくって新しいページ（白紙）にしましょう

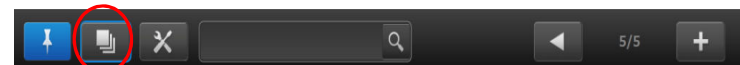
・画面下のツールバーにありますページ追加ボタン ＋ をタッチするとページが追加されます。

・ページ送り/戻りボタン ◀ 2/3 ▶ をタッチすると前のページに戻ったり、送ったりすることができます。

●画面をドラッグしてシートを変える

・ビューアイコン をタッチして、画面をタッチしたまま右や左に水平に動かす（ドラッグする）とシートを変えることができます。

ホワイトボードのシート一覧を表示しましょう

・画面下のツールバーのシート一覧ボタン をタッチすると、各シートがサムネイルで表示されます。

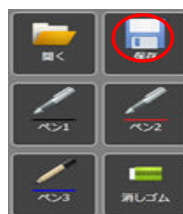
・1度タッチすると左下図①のように画面の下段に８つまでのシートがサムネイル表示されます。
また、再度タッチすると右下図②のように全画面でサムネイル表示されます（最大1画面40シート表示）。
表示したいシートのサムネイルを素早く2度タッチすると、タッチしたシートが全画面表示されます。

データを保存しましょう

1.メニューの保存アイコン をタッチします。

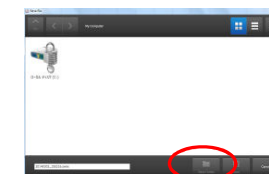
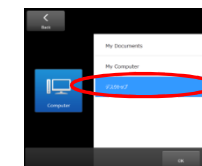
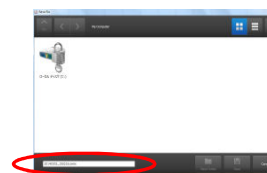
2.保存方法を選びます。

・新規保存： 　上書き保存：

・PDF保存： 　画像保存：

※新規保存、上書き保存はホワイトボードファイル（SWSX形式）で保存され、再編集することができます。
※PDF保存、画像保存（BMP、JPEG、PNG形式で保存）は、再編集することはできません。

［メモ］ 画像保存のファイル形式は画面下のツールバーの設定 をタッチし、「シート」タブの「画像保存形式」で設定したファイル形式となります。

3.保存先を選び、OKボタン OK をタッチします。

4.保存ボタン をタッチします。

［メモ］ ファイル名を変更する場合、ファイル名欄をタッチするとキーボードが起動します。

保存したデータを呼び出しましょう

1.メニューの開くアイコン **をタッチします。**

2.呼び出し方法を選びます。

・新規作成　：新しいシートを作成します。

・新規に開く　：保存したデータを呼び出します。

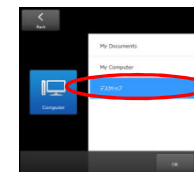
・追加で開く　：現在のシートに保存したデータを追加で開きます。

3.保存したデータを呼び出します。

・保存した場所を選択し、
OKボタン OK をタッチします。

4.ファイルを選択し、OKボタン OK をタッチします。

ツールバー（画面下）の構成

①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩　⑪

① ピン留め	タッチするとツールバーをピン留めをする／しない設定を切り換えます。画面上に常にツールバーを表示したい場合はピン留め（青色ボタン）設定、メニューを表示しているときのみツールバーを表示したい場合はピン留めしない設定にしてください。
② シート一覧	タッチすると、シートの一覧がサムネイルで表示されます。
③ 設定	ペンソフトの設定を行います。
④ 検索ボックス	シート内（すべてのシート内）のテキストや手書き文字を検索します。
⑤ シート戻りボタン	前のシート/次のシートに移動します。
⑥ページ番号	シートの枚数とシートの現在のシートの番号を表示しています。
⑦シート追加ボタン	タッチするとシートが追加されます。（最終ページを表示している時のみ表示）
⑧ ボード一覧	タッチすると、ボードの一覧をサムネイルで表示します。

：ホワイトボードを追加する
：透明ボードを追加するとき

※すでに透明ボードを開いている場合は透明ボードを追加できません。

⑨ 最小化	本ソフトウェアをタスクトレイに格納します。
⑩ ウィンドウ化	本ソフトウェアをウィンドウ化します。（ホワイトボードモードのみ）
⑪ 終了	本ソフトウェアを終了します。

メニューアイコンの構成

・開く	ファイルを開きます
・保存	ファイルを保存します。
・ペン1~3	タッチして文字や線を書きます。再度タッチすると文字の色、線の太さを設定します。
・消しゴム	タッチして文字や線を消します。再度タッチすると消しゴムの大きさを設定します。
・選択	タッチして画像や図形を選択します。選択方法は用途に合わせ3種類あります。（タッチ選択/矩形選択/なげなわ選択）

・貼り付け	コピーした図形やテキストを貼りつけます。

・画像挿入　画像を取り込むことができます。

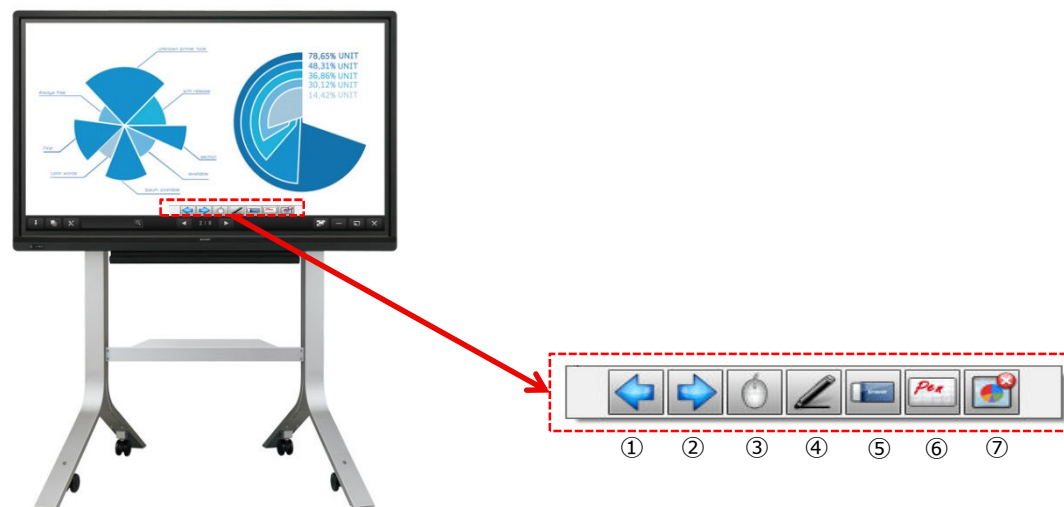
：保存している画像を取り込みます。

：画面キャプチャを取り込みます。

・図形挿入	図形や直線/矢印を描きます。
・データ取り込み	TWAIN機器から取り込んだ画像を貼り付けます。
・テキスト挿入	キーボードツールからテキストを入力します。
・元に戻す	ひとつ前の操作を取り消します。
・やり直し	ひとつ前に取り消した操作をやり直します。
・ビュー	ホワイトボードの拡大やページの移動ができます。
・指定領域拡大	画面の一部分を拡大表示します。
・全機能	すべての機能を一覧で表示します。

一覧から使用する機能を選んだり、スクエアメニューの機能を置き換えたりします。

●Power Point　スライドショー連携

Microsoft PowerPoint® のスライドショー表示すると、Microsoft PowerPoint®のスライドショーとペンソフトの操作が簡単にでき、プレゼンテーションがしやすくなりました。

Microsoft PowerPoint® のスライドショー表示するとコントロールツールバーを自動的に表示します。

①前のスライドを表示します。

②次のスライドを表示します。

③選択モードに変更します。

④ペンモードへ変更します。

・ペンの色は、Microsoft PowerPoint®の「スライドショー設定」で変更することができます。

・もう一度ペンアイコンにタッチするとペンの色を6色選択することが出来ます。 ペンの太さは変更することができません。

⑤ 消しゴムモードに変更します。

⑥ペンソフトのホワイトボードを起動します。

ホワイトボード起動時に、ホワイトボードに表示されるアイコン（　）をクリックするとスライドショーに戻ります。

⑦表示しているスライドショーを終了し、コントロールツールバーを閉じます。

ペンモードで描画などした場合は、「インク注釈を保持しまか？」の確認画面が表示されます。